ほりえ　眞報１７号

第１７号　８月　０８日　堀江　眞　発行
雲南市吉田町上山７９－１　TEL 0854・75・0236
e-メール　shin-h@i-yume.ne.jp
URL　http://www.nanushi.com/blog/
雲南市議会議員　眞さんのつぶやきで　検索を。

梅雨前線　豪雨　被害甚大

雲南の大動脈３１４号分断

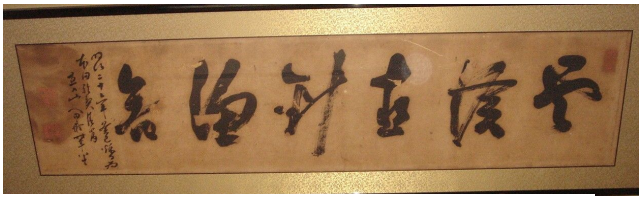
国道３１４号引野トンネルの出口で大崩落・通行止

７月１６日からの大雨は県下全域に大きな被害をもたらしました。雲南地域でも十八日夜からの大雨で路肩の崩落や崖崩れで道路が分断され、吉田地区の杉戸や川手小木地区などが一時孤立しました。また裏山の崩壊や川の氾濫で自主避難する家庭が出るなど６０年ぶりとも言われる大きな被害が発生しました。水田や畑などは現在調査中ですが被害は甚大と思われます。中でも雲南市民にとって大動脈の国道３１４号の崩壊は難所でもあり完全復旧するまで相当時間がかかりそうです。これまで広域農道を迂回していましたが７月末に片側通行が確保されました。通行止めで交通量は激減し、沿線の商店など被害は膨大です。この冬の豪雪に続き、家屋、農地への甚大な被害が「これを機会に・・」と定住意欲の減退につながることが何より心配です。幹線道路はもとより生活路線の一刻も早い復旧と民家・農地への再チャレンジにつながる手厚い支援が求められています。

道路が流失・生命線の自宅に入る橋が押し流され車が出せなくなったお宅。杉戸地内

木次町史から　雲南の文化人　本田　雲渓直針

本名・佐五郎。仁多町馬駝中林為右衛門の六男として生まれる。（岩島屋）木次町湯村・本田家の養子となる。明治十二年、日本南画会の重鎮、田能村直入が湯村の「湯乃上館」に逗留した際に認められ門人となった。明治４０年、二等賞に入選するなど優れた作品を残した。直入の雅号を授けられ入門した。明治二十三年、直針は日本美術展覧会に出品、作品は仁多・馬駝の生家や地元湯村に多く残っている。（写真・左）


「雲渓直針漁者」雅号を賜った時のもの　直入書

直針の師、田能村直入は湯村逗留中に出雲湯村温泉・漆仁（しつに）の三谷の山々から見た、湯の山が京都の嵐山に似てるとこから「小嵐峡」と命名した。「清嵐荘」の命名は直入の母の実家で源氏の生まれ変わりと言われる。お家では陰徳を積んだ人物だ。我が家の唯一の宝です。

全保育所を民営化・・・市の方針が示される

８月一日に開かれた全員協議会で市内８箇所ある保育所について今後全て民間に業務委託するという案が示されました。

大東町の計画案では先ず来年４月から一定規模以上の保育所を民間業務委託。「かもめ保育所」を民間委託。その後、定員が１９０人程度に順次掛合民間委託。小規模施設は２２年度以降に計画していくことになっています。

充実を図るため民間活力の活用が必要と結論。保育士の効率的な配置で延長保育など体制が組みやすいこと、運営経費が効率的に利用できること。などが掲げられています。

理由として、保育サービスの地域性を考慮して実施することは今後も統合されるのでは・と思う将来、小規模施設は解消されていませんが全保育所単位で行われます。

保育サービスは時間延長保育効率だけではありません。幼稚園のある地域、ない地域、それぞれ違います。

説明会では、十二分に意見を聞いて、十二分に理解を得て実施されなければなりません。

災害・暑中お見舞い申し上げます

大きな傷跡を残して梅雨が逃げたと思いきや猛暑。くれぐれも体調に気をつけてお過ごし下さい。